

# チーム えがお



発行者: 校長 岡田 達也

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

～ 図が お かが やき かんばる 学校 困う えんだん 「チーム北川」～

参観日 ありがとうございます!

授業参観 & 学級懇談 & 心肺蘇生法講習会 & 資源回収



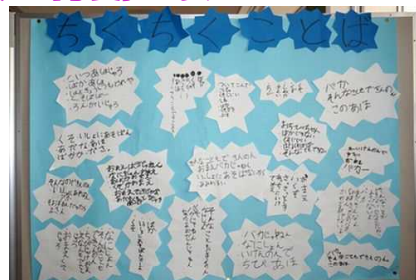
3日(金)の参観日は、まず資源回収に始まり、5校時の授業参観や学級懇談、そしてPTA主催の心肺蘇生法講習会と、盛りだくさんの半日でした。それでも、多くの保護者の皆様にお越しいただき、講習会にも20数人の保護者の方々が参加してくださいました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

特に、心肺蘇生法講習会では、真剣に取り組んでいただきありがとうございました。水泳指導においては、子どもたちの体調管理を含め、子どもたちの安全・安心を第一に考えています。なお、学校のAEDは児童玄関に入って右側角の机の上に置いてありますので、来校された際にはご確認ください。

授業参観のご感想は、いかがだったでしょうか。運動会終了後から、学校としての学習のルール(「きたがわ『学び』のABCD」、「『聞き方』のABCD」や「『話し方』のABCD」)を全校で統一して指導しています。まずは、子どもたちが落ち着いて学習できるよう、徹底していきたくと思います。そのための前提として「学習のかまえ」、つまり、①「物がまえ」(学習に必要な用具の準備)、②「気がまえ」(学ぼうという気持ち)、③「身がまえ」(正しい姿勢)の三つが欠かせません。ご家庭でも、忘れ物がないか、一声お願いいたします。

子どもたちは、少しずつ落ち着いて学習に取り組むことができるようになってきています。学習ルールを全校で統一して指導することで、次の学年に進級して新しい担任になっても戸惑うことがなくなり、授業を効率的に進めることができます。1学期中には、子どもたちが基本的な学習のルールを身に付けることができるよう、取組を充実させていきたくと考えています。

## 6月生活テーマ「思いやり」! ~思いやりは言葉と行動に表れます!~



先週の達成率は、89人でした。私は、6日(月)の朝会で子どもたちに「思いやり」の大切さについて真剣に話しました。思いやりは思うだけでは伝わらず、「言葉」と「行動」に表すことで初めて相手に伝わるもの。そして、みんな、学校中に思いやりが飛び交う、日本一の学校をつくらうと。子どもたちと教職員、そして保護者の皆様、みんなが本気で、力を合わせて取り組まなければそう簡単には実現できるものではありません。

大人も、子どもも、「自分がされていやなこと」はよく分かりますが、「して相手がいやなこと」は気付きにくいものです。そこで、学校では、子どもたちの実態を踏まえて、言われた人が温かな気持ちになる「ふわふわことば」と、悲しい気持ちになる「ちくちくことば」について学級で話し合うことにしています。どんな言葉が適切なのか、どんな言葉が人を傷つけるのか、まずは子ども自身がしっかりと理解することが必要だと思えます。

ある学年では、写真のような掲示をして、子どもたちと一緒にがんばっています。もし、「そんなの無理だ」と決め付けてあきらめたら、可能性は「0」です。この取組をより充実させるためには、学校において真剣に取り組むのはもちろんのこと、家庭の協力が欠かせません。ぜひ、ご家庭でも「思いやり」について、家族で話し合っていたきたいと思えます。子どものよりよい成長は、学校と家庭の連携・協力によって実現されます。